



ニッポン 臨終図巻

ドクター和の

梅雨が明け本格的な夏が始まりました。この時期増えるのが、海や河川での水難事故です。

警察庁の統計によれば、昨年(令和3年)全国で発生した水難事故は1359件。死者・行方不明者は744人とのこと。

コロナ自粛が終わった今年は、昨年より事故が増えるかと予測されています。誰もが、まさか今日、自分が水で死ぬとは思っていません。この人もそうだったことでしょうか。人気漫画『遊☆戯☆王』の作者・高橋和希さんが7月6日、沖縄県名護市の沖合で、水中マスクや足ヒレをつけた状態で亡くなっているのが発見されました。享年60。高橋さんは一人で沖

263 漫画家 高橋和希

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

縄に遊びに来ていた模様です。

現地の消防によれば、腹部や下半身にサメなどの海洋生物による損傷があったとのこと。サメに襲われて亡くなったのか、それとも亡くなった後に噛まれたのか…。経緯は明らかになっていません



高橋和希さんの遺作となった「遊☆戯☆王」
(©高橋和希 スタジオ・ダイス/集英社)

が、泳いでいる人間がサメに襲われることは非常に稀です。こちらが手出しをしなければ、サメの方から逃げていく場合がほとんどだそう。ですから、高橋さんは致死性の不整脈や急性心筋梗塞などで水中で突然死された可能性が高いのではないかと考えます。

しかし、僕が観たお昼のテレビ番組は、ここぞとばかりに「人食いサメ」の映像で、恐怖を煽っていました。そこに突然、安倍晋三元首相が銃撃されたとの一報が入り、画面は急遽「サメ」から「銃」へ…。その人を心配するよりも前に、恐怖を煽るような映像

が続くことに少し違和感を覚えたのは、僕だけでしょうか。さて、2014年にビル&メリンダゲイツ財団が発表した「世界で最も危険な動物ランキング」による

と、人間を殺している生き物の第15位がサメで年間約10人。10位がワニで1000人。3位はヘビで5万人。2位が人間で47万5000人。そして1位は蚊で72万5000人。2位が人間。1位が蚊だったとは…日本においては、きつと人間が堂々1位なのではないか。

そんなことを考えながら、『遊☆戯☆王』の大ファンだという若い在宅患者さんの家に往診に行ったら、高橋さんの死を悼みながら、彼は本を引っ張りだして、主人公の名台詞を教えてくださいました。

「どんな過去も無意味なんかじゃない。全ては今の、そして未来の自分へと繋がっているんだ!」

「たとえ自分が傷付こうと、相手の心の闇ごと背負う覚悟がなければ、人の苦しみや悲しみは絶対に見えてこない」

『遊☆戯☆王』はこのような名言が満載なんだそう。高橋さんの作品を見て育った子供たちが、素晴らしい大人になりますように。

人間を殺す生き物、日本で最も多いのは…